

学校教育目標	
(1)「高き理想」を持ち、その実現に向け、自ら考え行動できる人材の育成。 (2)「心ゆたかに」生きて行く人間力あふれた人材の育成。 (3)地域の学び・経験を通して自信を高め、地域を支え、地域をリードする有為な人材の育成。	
重点目標	
(1)生徒一人ひとりの力を最大限伸ばすため、きめの細かい学習指導を行う。 (2)生徒一人ひとりの進路希望実現のため、3年間を見通した計画的な進路指導を行う。 (3)学習活動、生徒会活動をはじめとする諸活動を通じて、生徒の自律が図られるよう支援する。 (4)生徒が安全で安心して生活できる、いじめや体罰のない学校づくりをさらに推進する。	

*「評価項目」の() 数字は、今年度重点目標の項目番号
 評点 5: 十分 4: はは十分 3: どちらともいえない 2: やや不十分 1: 不十分

領域	対象	R05 評価項目	R05 評価の観点	本年度の成果と課題	評点	具体的な改善策・向上策
教育活動	学習指導	(1) 基礎基本の定着と個の興味関心に応じた指導	生徒の学力実態に対応し、指導・評価の工夫や教材作成に取り組んでいるか。朝学習を通して基礎学力の定着が図られたか。	朝学習では読む力・書く力を養うことに意識して取り組んだ。「Monoxer」への取り組みはタブレット学習を定着させるひとつの手段となったが、活用については引き続き	4	朝学習で基礎的な内容を繰り返し行う。また、学力の向上と進路実現の繋がりを意識させ、各種検定へのチャレンジをめざす。
		授業評価による授業改善	体験学習、授業アンケート、定期考査等を通じ、生徒の理解、関心の度合いを図りながら授業の計画・改善に努めているか。	アンケートで、「授業がわかりやすい」「質問に丁寧に答える」といった声を多数得た。思考力、判断力、表現力を協働的な学習活動を取り入れていくことが課題。	4	引き続き、授業アンケートや生徒の振り返りを職員間で共有し、授業改善に務める。
	進路指導	(1) 3年間を見通した計画的な進路指導	学年や個に応じた進路指導計画の策定と適切な進路情報を幅広く収集整理し、積極的かつ適切に活かしているか。	各学年ごとに計画立案し、着実に計画を実施してきている。各学年時期を見て必要な情報を冊子等を通じて生徒に流し、情報確認をしている。	4	各学年進路計画に沿って実施。3学年は進路が9割決まり、1、2学年はガイダンスにより将来を見据え指導。進路情報冊子は効果的に使用。進路指導にどう取り入れるか課題。
		進路希望の現実と職業理解の促進	働くことの意味と責任を自覚し、社会の一員として生きる力を育成するために、1学年からの意識付けや、企業勉強会、ワーキングセミナー等の実施ができたか。	1年は将来を見据え、進路を大きくくりで考えさせ、2年は次年度の就職・進路に繋がる指導として各種ガイダンスを実施。3年は進路実現に向け活動し、就職・進学とも多くの生徒は決定してきている。	4	各学年進路ガイダンスを適宜実施。2～3年に会社説明(勉強会)を実施。改善しながら今後も継続予定。指定校、推薦の基準の徹底。総合型選抜の対応は本校のスケジュールに合わせて指導を確認。
	生徒指導	(1) 基本的な生活習慣の確立	全職員の協力で生徒指導に当たり、集団生活のマナーやルール遵守の定着を図っているか。	googleアンケートと面談にて、アルバイト実施者の実態把握ができた。無断アルバイト・届出未提出者への対策が課題	3	全校生徒へのアルバイトに関するルールの周知徹底。
		生徒相談体制の充実	生徒の状況を把握し、関係者間の連絡を密にして適切な支援体制を整えているか。	昨年度に続き面談週間や学校生活アンケート等を活用し、生徒状況の把握につとめ、支援に繋がった。月1回程度の定例会を実施し、定期的な情報共有を図ることができた。	4	引き続き教員間、SCや必要に応じて外部機関との連携を図り、生徒相談の体制を整えていきたい。アンケートの実施時期や種類、実施方法についても検討していきたい。
	クラブ会	(3) 自主的、主体的に行動する生徒の育成	・生徒の主体的な活動を支援し、主体的・対話的な学びによる自己肯定感を育てることができたか。 ・安全に配慮し、活動することができたか。	波田中学校との協働企画として出前KAWAトーク(地域交流会)・挨拶運動を行い、地域中高生での交流ができた。文化祭準備、KAWAトークや集中ミーティング等で、生徒が主体的に運営する姿が多く見られる	4	文化祭では、熱中症予防や感染対策を工夫しながら各企画、一般公開を実施していく。生徒会目標に沿った活動を考え、全校で継続して取り組める内容を検討し、活動の可能性を広げていきたい。
	組織運営	(1) 学校評価の充実	学校評価を通して、教育活動の向上・改善を図っているか。	保護者アンケートもオンラインで実施し、回答しやすくした。	4	生徒に実施する学校内外のアンケートの数が複数あり、重複する内容もある。アンケート項目の見直しを図り、効率化を図る。
		情報提供	本校の教育活動に関する情報や資料を、積極的・迅速に公開・提供をしているか。	大事な通知については、紙の配布に加え、メール配信をすることで確実に保護者に伝わるようにした。	3	引き続き、メール配信を利用して、情報が確実に保護者に伝わるようにする。
	学校運営	地域連携	(1) 地域と連携した教育	地域と連携した学習や体験活動を通して、生徒の学習意欲を引き出しているか。	地域に出かけ、また、講師を招き、地域の歴史、産業、防災、福祉について学んだ。1年生と松本市議会との交流が2回実施された。生徒にとっては、地域の諸課題に目を向ける貴重な機会となっている。	4
校内研修			(1) 授業・学習指導法の改善	・ICTの活用やオンライン授業、新教育課程の観点別評価方法等、新たな学びについて研修を行い、教材指導で実際活用することができたか。 ・公開授業・研究授業の振り返りにより指導改善につながったか。	職員のタブレット端末を用いて職員会を実施できた。ICTの活用や新教育課程の観点別評価方法について職員研修を実施し、職員間で情報共有ができた。計画していた公開授業がすべて実施できた。	4
	生徒の理解	多様な生徒の悩みを理解し、支援に結びつく研修となっているか。	相談係が自殺予防の研修を受け、その伝達講習を職員研修で行った。生徒相談・生徒支援の方法について理解を深めることができた。	4	アセスやSOSの出し方等、計画的に年間計画の中に組み入れるとともに、生徒の様子を正確に把握できるよう教員の研修も充実させていく。	